別紙（森林作業共通仕様書関係）

F-net大井川

担当課長

現場担当者

管理責任者

サイト管理者

**森林作業チェックリスト**【**作業前】**

令和2年度以降版　Ｖer.1.4

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **サイト名** |  |  | **確認日** | 年　　月 　日 |
| **現場名** |  |  | **確認者** |  |
| **作業種** | 森の力・搬出間伐・主伐・他（　　　　） |  | **作業者(班)** |  |

（保存年限5年）　適（〇）、不適（×）、該当なし（／）を記入すること

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 確認項目 | チェック | 対応策など |
| 工事準備 | 作業内容が把握されている。 |  |  |
| 工事準備 | 目立て器具、牽引具、取替え部品等必要な機械器具は正常な状態で確保されている。 |  |  |
| 工事準備 | 必要な安全装備が確保されている。 |  |  |
| 工事準備 | 作業に使用する林道・作業道・歩道は安全に使用可能な状態である。 |  |  |
| 工事準備 | つるがらみ・枝がらみの対応を確認した。 |  |  |
| 環境 | 枯損木・風倒木の対応を確認した。 |  |  |
| 環境 | 作業予定林分内又は隣接して河川、渓流がある場合、作業上の配慮を確認している。（森林管理計画書３.４③参照） |  |  |
| 環境 | 機械・器具のオイル漏れが発生した場合の対応策は考えられている。 |  |  |
| 環境 | 作業予定地に史跡、街道、生活設備、ハイキングコース等はない。又はある場合には対策を確認した。 |  |  |
| 環境 | 計画路線付近とその斜面下方が土砂災害警戒区域に指定されていない。 |  |  |
| 環境 | 作業予定林分に希少野生動植物は生息していない。 |  |  |
| 安全管理 | 緊急車両の走行経路と緊急時の防災ヘリコプターのピックアップポイントは確認した。 |  |  |
| 安全管理 | 携帯電話等による通信が可能である範囲を確認した。 |  |  |
| 【特記事項】 | | | |

作業地の概況の判る資料（作業計画書等）を添付すること

別紙（森林作業共通仕様書関係）

F-net大井川

担当課長

現場担当者

管理責任者

サイト管理者

**森林作業チェックリスト【作業後】**

令和2年度以降版　Ｖer.1.4

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **サイト名** |  |  | **確認日** | 年　月 　日 |
| **現場名** |  |  | **確認者** |  |
| **作業種** | 森の力・搬出間伐・主伐・他（　　　　） |  | **作業者(班)** |  |

（保存年限5年）適（〇）、不適（×）、該当なし（／）を記入すること

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 確認項目 | チェック | 処理内容など |
| 管理 | 「森林作業共通仕様書」内に記載されている作業手順が実施された。 |  |  |
| 環境 | 「森林作業共通仕様書」内に記載されている環境配慮が実施された。 |  |  |
| 環境 | 作業林分の希少野生動植物への影響はなかった。 |  |  |
| 環境 | 作業林分内又は隣接して河川、渓流がある場合、作業により土砂が流れ込んではいない。 |  |  |
| 環境 | 機械のオイル漏れはない。 |  |  |
| 環境 | 木材を搬出する場合、残存木を傷めた形跡はない。 |  |  |
| 環境 | 林道（作業道）の路面、路肩等の補修は必要ない。 |  |  |
| 環境 | 作業における廃棄物等が放置されていない。 |  |  |

**森林の状態**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 確認項目 | チェック | 具体的な場所・内容など |
| 環境 | 違法伐採・不法投棄など違法行為の形跡はない。 |  |  |
| 環境 | 病害虫、獣害の発生はない。 |  |  |
| 環境 | 外来種の侵入、拡大はない。 |  |  |
| 環境 | 山崩れ等の自然崩壊はない。 |  |  |
| 環境 | 風倒など気象災害を受けていない。 |  |  |
| 【特記事項】 | | | |

別紙（森林作業共通仕様書関係）

F-net大井川

担当課長

現場担当者

管理責任者

サイト管理者

**作業道開設チェックリスト【工事着手前】**

Ｖer.1.4

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **サイト名** |  |  | **確認日** | 年　　月 　日 |
| **路線名** |  |  | **確認者** |  |
| **事業箇所** |  |  | **作業者(班)** |  |

（保存年限5年）適（〇）、不適（×）、該当なし（／）を記入すること

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分 | チェック項目 | チェック | 対応策など |
| 合意形成 | 工事で影響を受ける可能性のある利害関係者との協議がなされている。 |  |  |
| 確認 | 作業道を開設するのに不適当な場所ではないと判断できる。 |  |  |
| 確認 | 森林計画図等河川渓流や地形がわかる図面により計画がなされている。 |  |  |
| 確認 | 地形図、航空写真、現場踏査により情報収集を行っている。 |  |  |
| 確認 | 地域の水源や養魚場等の存在と、工事がそれらへの影響がないかどうか確認できている。 |  |  |
| 確認 | 計画路線付近に鳥などの営巣、希少植物がない又は存在を確認した場合には対応案ができている。 |  |  |
| 確認 | 計画路線付近に史跡、街道、生活設備、ハイキングコース等はない。 |  |  |
| 確認 | 計画路線付近及びその斜面下方が、土砂災害警戒区域に指定されていない。 |  |  |
| 設計 | 地形、地質を踏査により判断をして、適切な位置に路盤が造成できる線形としている。 |  |  |
| 設計 | 線形は地形に合わせて自然の改変を最小限に抑えられている。 |  |  |
| 設計 | 切度高は１．５ｍ以下を原則としている。 |  |  |
| 設計 | 盛土や法面は侵食・崩落を防ぐよう安定させている。 |  |  |
| 設計 | 縦断勾配を概ね10度（18％）以下に抑えている。（やむを得ない場合のみ短区間14度（25％）程度） |  |  |
| 設計 | スイッチバック部分の構造は走行の安全や路面排水に留意されている。 |  |  |
| 設計 | 河川や渓流からできるだけ離れ、交差は最小限に抑えるとともに交差する場合は直角交差する線形となっている。 |  |  |
| 設計 | 排水は河川や渓流に直接流れ込まないよう、分散させゆっくり流すよう工夫されている。 |  |  |
| 設計 | 生物の移動をできるだけ妨げない工夫をしている。 |  |  |
| 工事準備 | 機械操作者は十分な訓練を受けている者で、森林の多面的機能の保護を理解している者を選定している。 |  |  |
| 施工計画 | 作業機械の安全点検や整備を行うよう指導がされている。 |  |  |
| 施工計画 | 土工などの作業は、降雨時をできるだけ避けるようにする。荒天および降雪時は作業を中断する計画となっている。 |  |  |
| 要注意 | 【確認】①地すべり地形、②落石危険地、③軟弱地盤、④受け盤と流れ盤、⑤保安林、⑥県立自然公園、⑥砂防指定区域 |  |  |

森林作業チェックリスト、(皆伐する場合は)皆伐チェックリストも併用のこと

別紙（森林作業共通仕様書関係）

F-net大井川

担当課長

現場担当者

管理責任者

サイト管理者

**作業道開設チェックリスト【工事着手後】**

Ｖer.1.4

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **サイト名** |  |  | **確認日** | 年　　月 　日 |
| **路線名** |  |  | **確認者** |  |
| **事業箇所** |  |  | **作業者(班)** |  |

（保存年限5年）適（〇）、不適（×）、該当なし（／）を記入すること

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分 | チェック項目 | チェック | 処理内容など |
| 管理 | 路線の台帳が整備されている（指定又は任意様式、完成図面添付）。 |  |  |
| 安全管理 | 作業機械の安全確認を行った。悪天候時には、機械類を安全な場所に移動させた。 |  |  |
| 伐開 | 伐開幅は最小限に抑えられている。 |  |  |
| 線形 | 地形、地質に合わせて、適切な位置に路盤が造成され、自然の改編が最小限に抑えられている。 |  |  |
| 線形 | 河川との交差は最小限に抑えるとともに、交差する場合は直角交差となっている。 |  |  |
| 線形 | 河川や渓流からできるだけ離れている。 |  |  |
| 線形 | 縦断勾配を利用した分散排水がされている。 |  |  |
| 土工 | 盛土や法面は侵食を防ぐよう安定させている。 |  |  |
| 土工 | 切度高は１．５ｍ以下の抑制されている。 |  |  |
| 土工 | 排水溝や暗渠は侵食を最小限にできている。 |  |  |
| 土工 | 排水が河川や渓流に直接流れ込まないようにこまめな排水が行われている。 |  |  |
| 土工 | 流末の洗掘対策処理が行われている。 |  |  |
| 土工 | 湧水の確認、対策を行ってある。 |  |  |
| 土工 | 路盤が軟弱であった場合の対策が実施されている。 |  |  |
| 土工 | 路肩の保護がなされている。 |  |  |
| 環境 | 生物の移動をできるだけ妨げない工夫がなされている。 |  |  |
| 環境 | 油脂類の漏出はなく、油脂の適正な交換、補給作業が行われた。 |  |  |
| 環境 | 鳥などの営巣、希少植物はなかった。又はそれらが確認された場合、生息に配慮され、事務局に報告を行った。 |  |  |
| 環境 | 計画路線付近に史跡、街道、生活設備、ハイキングコース等はなかった。又はあった場合、配慮がなされた。 |  |  |
| 確認 | 作設中、作設後、降雨時において雨水の動きを確認した。 |  |  |
| 確認 | 想定機械（林業作業車又はトラック等）の走行に支障がない。 |  |  |
| 確認 | 接続林道等に路面水が直接流下しないようになっている。 |  |  |
| 確認 | 一般車両の進入に対する対応がなされている。 |  |  |
| 確認 | 今後の維持管理の方法が決まっている。 |  |  |

森林作業チェックリスト、(皆伐する場合は)皆伐チェックリストも併用のこと

別紙（森林作業共通仕様書関係）

F-net大井川

担当課長

現場担当者

管理責任者

サイト管理者

**皆伐作業チェックリスト【着手前】**

Ｖer.1.2

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **サイト名** |  |  | **確認日** | 年　　月 　日 |
| **現場名** |  |  | **確認者** |  |
| **林班** |  |  | **作業者(班)** |  |

（保存年限5年）適（〇）、不適（×）、該当なし（／）を記入すること

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分 | チェック項目 | チェック | 対応策など |
| 確認 | 保安林、自然公園等伐採制限のある森林でない |  |  |
| 確認 | 過去5年以内の造林補助金の有無を確認した |  |  |
| 確認 | 森林経営計画の変更や伐採・造林届出書の提出について確認した |  |  |
| 確認 | 土地・立木の権利関係等を確認した。 |  |  |
| 確認 | 急傾斜や岩石地等の皆伐を控えるべき森林ではない。 |  |  |
| 計画 | 皆伐で影響を受ける土地・森林等の利害関係者との協議がされている。 |  |  |
| 計画 | 伐採方法や伐採後の造林方法（植栽・樹種、天然更新等）、獣害対策について具体的な計画を作成した。 |  |  |
| 計画 | 急傾斜地や岩石地の場合、保存木（単木・群状）を配置する計画とした。 |  |  |
| 確認 | 現場は地すべり地形や落石危険地、土砂詐害警戒区域でない。 |  |  |
| 確認 | 皆伐現場付近に鳥などの営巣、希少植物がない。又は存在を確認した場合には対応策ができている。 |  |  |
| 確認 | 地域の水源や養魚場等がない。又はある場合には皆伐作業による影響の確認と対応策ができている。 |  |  |
| 確認 | 計画路線付近に史跡、街道、生活設備、ハイキングコース等がない。又はある場合には対策を確認した。 |  |  |
| 確認 | 標高1,400ｍ以上の山、又はササ等の被覆が想定される場所や土壌が極めて悪い場所ではない。 |  |  |
| 面積 | 5ha以上の皆伐の場合は、伐採区域や伐採時期を分散させるとともに、保護樹帯を設ける計画となっている。 |  |  |
| 作業 | 現場に立て看板等を設置し、伐採作業中であることを周知し、通行者等の安全確保に努める。 |  |  |
| 作業 | 地元住民が通行する道路では作業が妨げにならないよう注意し、道路使用について地元の理解を得ている。 |  |  |
| 作業 | 渓流沿いや尾根筋は、林地の保全や森林の多面的機能の激変を避けるため保護樹帯などを設ける計画となっている。 |  |  |
| 作業 | （天然更新の場合）尾根筋や一定面積毎に母樹を残す計画となっている。 |  |  |
| 作業 | 枝条類は渓流内および渓流沿いに集積しない計画となっている。 |  |  |
| 施工  計画 | 機械操作者は十分な訓練を受けている者で、森林の多面的機能の保護を理解している者を選定している。 |  |  |
| 施工  計画 | 伐採作業等は、降雨時をできるだけ避けるようにする。荒天および降雪時は作業を中断する計画となっている。 |  |  |
| 特記事項： | | | |

森林作業チェックリスト、作業道開設チェックリストも併用のこと

別紙（森林作業共通仕様書関係）

F-net大井川

担当課長

現場担当者

管理責任者

サイト管理者

**皆伐作業チェックリスト【完了後】**

Ｖer.1.2

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **サイト名** |  |  | **確認日** | 年　　月 　日 |
| **現場名** |  |  | **確認者** |  |
| **林班** |  |  | **作業者(班)** |  |

（保存年限5年）適（〇）、不適（×）、該当なし（／）を記入すること

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分 | チェック項目 | チェック | 処理内容など |
| 計画 | 法令による制限の確認は適切であった。 |  |  |
| 計画 | 森林経営計画の有無、必要な許可、届出等を全て行った。 |  |  |
| 計画 | 路網・土場の配置・開設は適切であった。 |  |  |
| 計画 | 伐出方法と機械の選択は適切であった。 |  |  |
| 計画 | 作業は安全に行われた。 |  |  |
| 確認 | 伐採木の枝条、木くず等は河川・渓流に入っていない。 |  |  |
| 確認 | 資材等の放置はない |  |  |
| 確認 | 作業現場において発生する廃棄物については林内に残さず、すべて持ち帰り適切に処理されている。 |  |  |
| 確認 | 搬出の際、使用した林道、森林作業道の補修の必要はない。 |  |  |
| 確認 | 年間を通じて流水のある河川、渓流の周辺は緩衝地帯として保全されている。 |  |  |
| 確認 | （人工造林の場合）苗の活着は良好である。 |  |  |
| 確認 | 獣害等森林被害を受けていない。 |  |  |
| 確認 | （獣害対策を行った場合）動物の食害等の被害は発生していない。 |  |  |
| 確認 | （天然更新の場合）草本類等の繁茂が著しい場所での被圧、動物の食害の状況を確認した。 |  |  |
| 作業 | （獣害対策を行った場合）防護柵等の点検（必要なら補修）を行った。 |  |  |
| 作業 | （人工造林・天然更新の場合とも）更新樹種の生育の可能性を確認し適切な対応を行った。 |  |  |
| 作業 | 伐出作業は地域住民に迷惑をかけることなく行われた。 |  |  |
| 特記事項： | | | |

森林作業チェックリスト、作業道開設チェックリストも併用のこと